

施策	ご意見・ご指摘	回答・対応方針	
		旧(第7回審議会)	新
1-3工業の振興	三輪そうめんのPRが不足していると感じる。各事業者が個別に行うのではなく、組合全体として、その道のプロに外部委託するなどしてはどうか。(梅田委員)	三輪素麺のPRとしては、平成28年に農水省の「地理的表示保護制度(GIマーク)を取得や、29年度に「桜井市三輪素麺の普及の促進に関する条例」を制定するとともに、国の補助金等を活用して、市内外で販売促進のイベント等も行っていますが、PRの外部委託については、経費の面や、個々の事業者が独自で宣伝をおこなっていることから、統一的な宣伝広告を行っていません。 しかし、近年、「揖保乃糸」に押されて三輪素麺の販売量も低下傾向にあることから、現在、中小企業庁の支援を受け、素麺業界・市・地元金融機関が連携し、今後の戦略について検討を進めているところです。	三輪素麺のPRを組合全体として、専門業者に委託して行ってはどうかのご指摘ですが、例えば、組合員の製造した製品を組合がすべて買い上げ、等級を決めて管理、出荷、販売まで一手に組合が行う「揖保乃糸」とは異なり、「三輪素麺」は従来から、個々の事業者が独自ブランドを広報・販売するスタイルが定着しています。そのため、今後は他ブランドのあり方も参考にしつつ、「三輪素麺」ならではの、業界の状況に応じた販売促進戦略を確立する必要があると思われるます。
1-4商業の振興	桜井駅前は、エルト桜井がリニューアルされたものの、目立った商店もなく、賑わいに乏しいと感じる。今後どのように活性化していこうと考えているか。(東委員)	昨年5月にリニューアルオープンしたエルト桜井ですが、近隣住民が切望されていた1階の食品スーパーが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響や、近隣への新規食品スーパーの出店等により売上げが当初の想定を大きく下回ることになり、5月末を以て撤退しました。 今後は、早急に新規出店者を募り、住民の生活支援を目指すとともに、まほろばセンター利用者(ひみこぱーくを含む)が駅周辺を周遊し賑わいが拡散できるような仕組みづくりを、地元まちづくり協議会等とも連携を図り進めていきたいと考えています。	昨年5月にリニューアルオープンしたエルト桜井ですが、地域の住民が切望されていた1階の食品スーパーが、近隣への新規食品スーパーの出店等もあり、売上げが当初の想定を大きく下回ったことから、5月末を以て撤退しました。 食品スーパー撤退後の空きスペースの活用方法につきましては、今後、新規の出店者を募集していきますが、同時に、桜井駅周辺地区全体の活性化についても、市・県・住民・地元まちづくり協議会等がそれぞれ主体性をもって連携することにより、中長期的な観点から最善の手法を検討していきたいと考えています。
3-6. 歴史文化の保全と活用	山の辺の道エリアに、万葉歌碑の原書揮毫作品の常設展示場を設けてはどうか。(梅田委員)	昭和の各界の著名な方々に揮毫いただいた万葉歌碑の原書は、非常に価値の高いものであると認識しています。常設展示につきましては、施設の維持管理や景観法等の問題もあり、現時点では難しいと考えていますが、イベント等での展示は行っており、より身近に接することができるような環境を整えるなど、活用の方法を探って参りたいと考えています。	昭和の時代を代表するような、各分野の著名な方々に揮毫いただいた万葉歌碑の原書は、非常に価値の高いものであると認識しています。常設展示につきましては、施設の維持管理等の問題もあり、現時点では難しいと考えていますが、イベント等での展示は行っていますので、その際には、歌の作者・詠まれた場所など、桜井市との縁も併せて紹介するなど、ご覧になられた方に、それぞれの歌が詠まれた時代を追体験していただけるような工夫をすることで、観光の振興にもつなげていきたいと考えています。